



## 微弱電流機器を用いた急性腰部捻挫の施術

福岡南支部 前田 一徳

キーワード

●微弱電流 ●急性腰部捻挫

### 【はじめに】

以前より急性腰痛患者には短時間・弱刺激の手法が、より回復が早いと日常の施術よりも感じ、微弱電流機器ソーマダイン(図1)で急性腰痛を施術すると、より良い有効な改善がみられたのでここに報告する。



ば、座位の状態になり頸部筋群(図3)と腹部(図4)にそれぞれ、合計4分通電する。

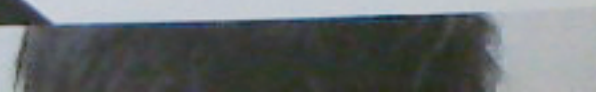
頸部に通電する目的は、疼痛の逃避姿勢により体が前傾姿勢になり、それに伴い、頭蓋骨の重量で過度の負荷が腰部に重なるため、頸部の血流を促進させることで、頸部を定位置に保持させ腰に係る負担の軽減を図るためである。

また、腹部の通電の目的は、腹筋群の過緊張の緩和のために行う。

最後に、下肢安定の目的のために足首にテーピングをまく。(図5)

最後に腹部・大腿部の温熱療法を図る。

図3



### 【評価方法】

痛みの指標としてNRS5段階、で聴取する。

### 【結果】

NRS値集計結果(図6)(図7)  
\*2回目の数値は初回より

図6 NRS集計結果